

いなさの風

上野間小学校
学校だより
令和8年7月号

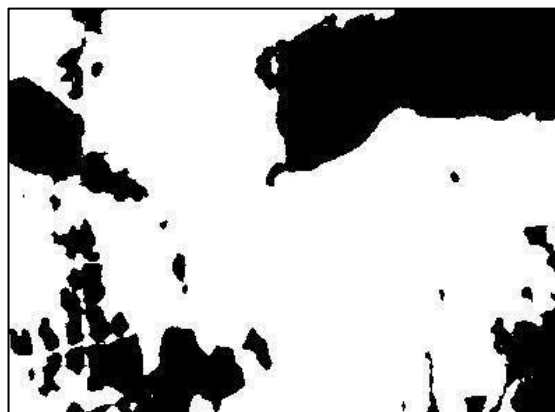
認知と学びの基盤を見つめて

校長 守山 佑介

突然ですが、皆さんは右にある絵が何を表しているか分かりますか。

これは、先日ある研修会に参加したときに、講師の先生から投げかけられた問題です。何の絵かを知っている人はすぐに答えが分かったかもしれませんが、しかし、私はこの絵を初めて見たため、いろいろと考えたものの、講師の先生が答えを示してくれるまで、まったく分かりませんでした。

答えは、「牛」です（中央から左部が正面を見ている牛の顔。右部が胴体）。



講師の先生から、「人は生活の中で『もの』を見ている、見る対象への知識や経験が十分になれば認知することができない。」ということを示唆していただき、そのことを強く実感する機会となりました。

最近は生成AIの加速的な普及など社会の在り方は大きく変化するとともに、国際情勢も混迷するなど予測困難な時代だと言われます。このような時代の中で学校教育には、子どもたちを取り巻く多様な課題に対応し、子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す「主体的・対話的で深い学び」の着実な具現化が求められています。一方で、その前提として、「もの」や「事象」を適切に認知するための基礎・基本となる知識・技能の習得、「もの」や「事象」を自分なりに考えるための見方・考え方の視点の育成が重要であることを、今回の研修会を通して改めて確認することができました。

本校では本年度、「子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びのあり方」をテーマに、職員一同、全力で取組を進めています。先日の学校訪問では、取組の現状や今後の方策について助言をいただいたところです。

予測困難な時代にあっても、上野間小の子どもたち一人一人が、校訓にある「自ら進んで考え実行できる子」として、今以上に成長していけるよう、引き続き取組を進めてまいります。



修学旅行



6月18日（木）19日（金）の二日間、6年生が奈良・京都への修学旅行に行ってきました。

まず1日目は奈良を訪れ、奈良分散研修を行いました。東大寺周辺の寺院や博物館などを巡り、奈良の歴史に触れました。

2日目は京都に向かい、今年から取り入れたタクシー分散研修を行いました。事前に各班が計画したコースをタクシーで巡りました。

民踊指導



6月4日（木）に、4～6年生を対象とした民踊指導が行われました。美浜音頭・小唄保存会の方々を講師に招いて、みんなで美浜音頭と美浜小唄を楽しく踊りました。地域のお祭りに積極的に参加し、美浜音頭と美浜小唄を地域で伝承してほしいと思います。

8月の予定

10日（月）～16日（日） 学校閉校日
11日（火）  山の日
26日（水）～28日（金） ラジオ体操
9月1日（火） 2学期始業式

